

## 4 暴力と安全確保

### 4.1 暴力

4.2 同意、プライバシー、からだの保全

4.3 情報通信技術（ICTs）の安全な使い方

### 学習目標（5～8歳）

キーアイデア：

- ・ いじめや暴力を認識し、それらが間違った行為だと理解できることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ からかい、いじめ、暴力の定義をする。（知識）
- ▶ いじめや暴力は間違った行為であり、決して被害者が悪いのではないことを認識する。これには、家族や他の大人による暴力も含まれる。（態度）
- ▶ 仲間の中でのいじめや暴力に対応するための安全な行動を示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・ 子ども虐待を認識でき、それが間違った行為だと理解できることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的虐待やオンライン上での子どもに対する性的搾取を含む子ども虐待を定義する。（知識）
- ▶ 子ども虐待は子どもの権利を侵害するものであり、決して被害者が悪いのではないことを認める。その子どもへの性的虐待が、大人や知り合い、信頼する人、さらには家族からのものであっても。（態度）
- ▶ 大人が性的虐待をしようとした場合、自分ができる行動（例：「嫌だ」、「あっちへ行け」と言う、信頼できる大人に相談する）を示す。（スキル）
- ▶ 親や保護者、信頼できる大人を明らかにし、虐待を受けた場合に虐待をどのように伝えればよいかを示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・ 両親や恋愛関係にある人たちの間でも暴力は間違っていると理解することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 親同士や恋愛関係にある人たちの間で起こりうる暴力の種類（例：身体的に傷つける、意地悪を言う、相手に何かを強要する）を認識する。（知識）
- ▶ 親同士や恋愛関係にある人たちの間で起こる暴力は間違った行為であると認識する。（態度）
- ▶ 家庭内でこのような暴力を目にした場合、信頼できる大人にどのように支援を求めるかを明らかにし、説明する。（スキル）

### 学習目標（9～12歳）

キーアイデア：

- ・ 性的虐待、セクシュアルハラスメント、いじめ（ネットいじめを含む）は人を傷つける行為であり、それらを経験した場合はサポートを求めることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的虐待（レイプ、近親者による性暴力、オンラインでの性的搾取を含む）、セクシュアルハラスメント、いじめ（ネット

いじめを含む) の例を説明する。(知識)

- ▶子どもへの性的虐待は違法であること、また、被害を受けた人を支援するための機関やサービスがあることを認識する。(知識)
- ▶性的虐待、セクシュアルハラスメント、近親姦、いじめを受けた場合、支援を求めることの重要性を認識する。(態度)
- ▶いじめや性的虐待、嫌がらせを受けている人を知っている場合、効果的な対応方法をやってみる。(スキル)
- ▶性的虐待、セクシュアルハラスメント、近親姦、いじめを受けている人を知っている場合、もしくは自分自身が被害にあっている場合に、助けを求める方法をやってみる。(スキル)

キーアイデア：

- ・親密なパートナーからの暴力は間違った行為であり、それを目撃した場合に支援を求めることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶親密なパートナーからの暴力を定義する。(知識)
- ▶親密なパートナーからの暴力の具体例を説明する。(知識)
- ▶親密なパートナーからの暴力は間違った行為であること、それを目にした子どもは支援を受けることで恩恵を得ることを認識する。(態度)
- ▶家庭内でこの種の暴力に直面している場合、信頼できる大人にどのように支援を求めるかを示す。(スキル)

### 学習目標 (12～15 歳)

キーアイデア：

- ・性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめは人権侵害です。

学習者ができるようになること：

- ▶いじめ、心理的暴力、身体的暴力、性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力を比較対照する。(知識)
- ▶大人や若者、力のある立場の人による、性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめは、決して被害者が悪いのではなく、常に人権侵害であることを認識する。(態度)
- ▶性的虐待、性暴力、親密なパートナーからの暴力、いじめを通報する方法を示す。(スキル)
- ▶性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめについて、被害者を支援し予防するための信頼できる大人やサービスへのアプローチ方法を示す。(スキル)

### 学習目標 (15～18 歳以上)

キーアイデア：

- ・すべての人には、暴力にさらされることなく人々の健康と幸福が実現するように働きかける責任があります。

学習者ができるようになること：

- ▶身体的、心理的、性的なものも含むさまざまな形の暴力を減らすための取り組みの成功例を分析する。(知識)
- ▶学校、家庭、オンライン、コミュニティなどあらゆる場で起こる暴力や人権侵害に対して、声を上げることの重要性を認める。(態度)
- ▶誰もが尊厳を持って、大切に扱われるような安全な環境の実現を社会に呼びかける。(スキル)

## 4 暴力と安全確保

- 4.1 暴力
- 4.2 同意、プライバシー、からだの保全
- 4.3 情報通信技術（ICTs）の安全な使い方

### 学習目標（5～8 歳）

キーアイデア：

・自分のからだに、誰が、どこに、どのような方法で触れることができるかを定める権利を、誰もが持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶ 「からだの権利」の意味を説明する。（知識）
- ▶ からだのどの部分がプライベートな部分かを明らかにする。（知識）
- ▶ 誰もが「からだの権利」を持っていることを認識する。（態度）
- ▶ 不快に感じる触られ方をした場合の対処法（例：「嫌だ」と言う、「あっちへ行け」と言う、信頼できる大人に話す）を示す。（スキル）
- ▶ 誰かに触られて不快感を感じた場合は、親や保護者、信頼できる大人にどのように伝えるかを明らかにし、説明する。（スキル）

### 学習目標（9～12 歳）

キーアイデア：

・望まない性的な扱われ方とは何かについて、また、成長期におけるプライバシーの必要性について理解することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 思春期には、自分のからだやプライベートな空間のプライバシーは男女問わず、特に女子のトイレや水場へのアクセスは、より重要になることを説明する。（知識）
- ▶ 望まない性的な扱われ方を定義する。（知識）
- ▶ 男女問わず、望まない性的な扱われ方はプライバシーと自分のからだを自分で決める権利の侵害であると認識する。（態度）
- ▶ プライバシーを守り、望まない性的な扱われ方に対抗するために、自己主張のあるコミュニケーションをとる。（スキル）

### 学習目標（12～15 歳）

キーアイデア：

・誰もがプライバシーとからだの保全の権利を持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶ プライバシーとからだの保全の権利の意味を説明する。（知識）
- ▶ プライバシーとからだの保全の権利を誰もが持っていることを認識する。（態度）
- ▶ プライバシーとからだの保全の権利について、自分がどのように感じているかを表現する。（スキル）

キーアイデア：

・誰もが、性的な行為をするかしないかを自分でコントロールする権利を持っており、パートナーに積極的に自分の意志を伝え、相手の同意を確認すべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 同意を定義し、それが性的な意思決定に密接に関わることを説明する。(知識)
- ▶ 性的同意を伝えること、受け取ることの重要性を認識する。(態度)
- ▶ 性的行動に関する個人的な境界線について、同意することと同意しないことを表現する。(スキル)

## 学習目標 (15~18 歳以上)

キーアイデア：

・健康的でよろこびのある、パートナーとの合意の上での性的行動には、同意が不可欠です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的同意を伝えること、拒否することの利点、他人の性的同意や同意の有無を認めることの利点を分析する。(知識)
- ▶ 男性と女性のからだの扱われ方の違いや、同意に基づく性的行動に影響しうる性的行動のダブルスタンダードを比較対照する。(知識)
- ▶ 同意に基づいた性的行動は、健康的な性的関係の重要な要素であることを認識する。(態度)
- ▶ 同意を伝える、または拒否するコミュニケーションや、同意の有無を認識する方法を実際にやってみる。(スキル)

キーアイデア：

・同意を伝える能力や同意を認識する能力に強い影響を与えうる要因を認識することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的同意において、相手の話を聞くこと、認めること、行動すること、または行動しないことの意味を議論する。(知識)
- ▶ 同意が認識されている場合と認識されていない場合、あるいは同意が伝えられている場合を比較対照する。(知識)
- ▶ 同意を認識したり、伝えたりする能力に影響を与えうる要因（例：アルコールや薬物、ジェンダーに基づく暴力、貧困、力関係）を分析する。(知識)
- ▶ 性的同意を損ないうる要因を避けることが重要であることを認識する。(態度)
- ▶ 同意を伝えたり、拒否したりする能力をはっきりと示す。(スキル)
- ▶ 他人の同意の有無を認識する能力をはっきりと示す。(スキル)

## 4 暴力と安全確保

- 4.1 暴力
- 4.2 同意、プライバシー、からだの保全
- 4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

## 学習目標 (5~8 歳)

キーアイデア：

・インターネットやソーシャルメディアは、情報収集や、他者とつながるための手段であり、安全に使うことができる一方で、子どもを含め人々を傷つけるリスクにさらす可能性もあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ インターネットやソーシャルメディアとは何かを説明する。(知識)
- ▶ インターネットやソーシャルメディアの利点と潜在的な危険性をあげる。(知識)
- ▶ インターネットやソーシャルメディアを、それらが安全ではない可能性があることを認識したうえで、認める。(態度)
- ▶ インターネットやソーシャルメディアで何かをしったり見たりしたことで、不安になったり怖くなったりにした場合に、信頼できる大人に相談する方法を明らかにし、その方法を示す。(スキル)

## 学習目標 (9～12 歳)

キーアイデア：

- ・ インターネットやソーシャルメディアの利用には、特別な注意と思慮が必要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ インターネットやソーシャルメディアの利点と起こりうる危険性の例を説明する。(知識)
- ▶ インターネットやソーシャルメディアの利用方法に慎重であることの重要性を認識する。(態度)
- ▶ ソーシャルメディア上でどのような情報を誰と共有するかを決める方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ ソーシャルメディアを通じて、性的に露骨な表現やメディアに簡単にアクセスできる状態にあり、それは有害なジェンダー役割のステレオタイプを促進する可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的に露骨なメディア (ポルノグラフィ)、セク스팅とは何かを説明する。(知識)
- ▶ 性的に露骨なメディアでは、男性、女性、性的関係が非現実的に描かれていることが多いことを説明する。(知識)
- ▶ 性的に露骨なメディアは、男性、女性、性的関係についての不正確な描写によって誤解を招く可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ 性的に露骨なメディアやセク스팅について、信頼できる大人に伝える方法を明らかにし、それを示す。(スキル)

## 学習目標 (12～15 歳)

キーアイデア：

- ・ インターネット、携帯電話、ソーシャルメディアは、望まない性的な扱われ方の原因になる可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ インターネットや携帯電話、ソーシャルメディアがどのように望まない性的な扱われ方の要因となりうるかを説明する。(知識)
- ▶ インターネットや携帯電話、ソーシャルメディアで受ける望まない性的な扱われ方に対抗する方法があることを認める。(態度)
- ▶ インターネットや携帯電話、ソーシャルメディアを安全に利用するための計画を立て、実践する。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 性的に露骨なメディアや表現は、性的に刺激するもので、有害となる可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的に露骨なメディア (ポルノグラフィ) がこれほどまで普及している理由を分析する。(知識)
- ▶ 性的に露骨なメディアがどのように有害になりうるか、どこに通報して助けを求めればよいかをまとめる。(知識)
- ▶ 未成年者が性的に露骨な表現を送信、受信、購入、所持することが違法となる場合があることを区別する。(知識)

- ▶性的に露骨な表現の共有や管理についての法律を知る重要性を認識する。(態度)
- ▶性的に露骨なメディアの利用について感じることを表現する。(スキル)

### 学習目標 (15~18 歳以上)

キーアイデア：

・ソーシャルメディアの利用は、有益なことも多い反面、慎重な取り扱いが求められるような道徳的、倫理的、法的な状況になる可能性もあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ソーシャルメディアを安全に、合法的に、そして慎重に利用するための方策を分析する。(知識)
- ▶ソーシャルメディアの利用には多くの利点があるが、安全でない状況や違法行為にもつながる可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ソーシャルメディアを、責任を持って利用するための計画を立て、実践する。(スキル)

キーアイデア：

・性的に露骨なメディアは、性的行動、性的反応、体型などについて非現実的な期待を抱かせてしまうことがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶性的に露骨なメディアが、どのようにして男性、女性、性的行動、性的反応、体型などについて非現実的な期待を生み出すのかを評価する。(知識)
- ▶性的に露骨なメディアが有害なジェンダーステレオタイプを強化し、暴力的または性的同意のない行為を普通のことにしてしまう可能性があることを認識する。(態度)
- ▶性的に露骨なメディアによる男性、女性、性的行動の非現実的な描写の結果が、自己イメージ、自信、自尊心、他者への認識にどのような影響を与える可能性があるかを考察する。(スキル)